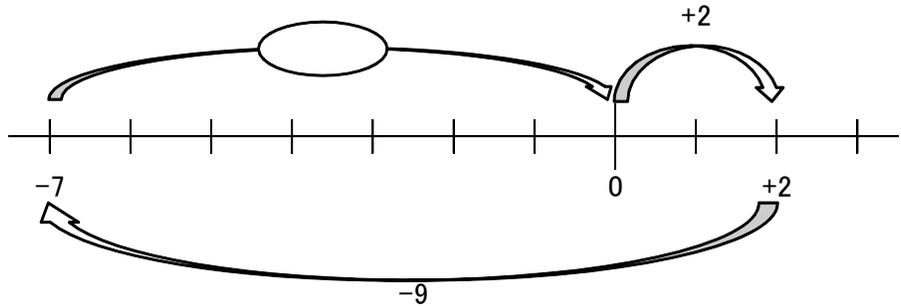


教材1-B-(2) 正負の数の加法

① 『 $(+2)+(-9)$ 』の解決のために

$(+2)+(-9)=-(\quad)$ いふごう 異符号の計算では、絶対値の大きいほうから
 $=-7$ ほうをひき、絶対値の大きいほうの をつける。

数直線を使って考えると
 $+2$ は正の向きへ2動く
 -9 は負の向きへ9動く



よって、 $(+2)+(-9)$
 $=$

たしかめよう

次の計算をしなさい。

① $(+4)+(-5)=$

② $-18+2=$

③ $(+7)+(-9)=$

④ $-14+(+6)=$